

パキスタンが SU-35 の購入を希望

漢和防務評論 20180806(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

ロシアがインドに対する当てつけに、パキスタンへの SU-35 輸出を打診しています。トルコの S-400 地対空ミサイル輸入問題に構図が似ています。中国は、ミャンマーに JF17(中国製 FC-1)を輸出しようとしています。パキスタンが一部国産しているので、部品供給の話がありました。KDR の記事では、中国が単独でミャンマーと契約した話を掲載していますが、本当のことはわかりません。パキスタンが SU-35 に興味を示したということは、中国製戦闘機を信頼していないということでしょうか？

KDR 平可夫特電：

パキスタン軍の権威筋は、KDR の独占取材に次のように述べた：パキスタンはロシア政府との間で、SU-35 及びその他の武器装備の輸入について交渉を行っている。パキスタン空軍は、少なくとも 1 個中隊分の SU-35 が欲しい。交渉は軌道に乗っているが、時間がかかりそうだ。両国は各種技術とその実行可能性について評価を行っている、と。消息筋は初めてこの事実を披露した。”少なくとも 1 個中隊分欲しい。現在パキスタンは、防空用に大型複座戦闘機を採用するかどうか検討中である”と。消息筋は次のように強調した：現在、パキスタン空軍は、財源の配分問題が未解決である。100 機の JF-17BLOCK 1/2 の導入事業はすでに完了した。今年から空中給油のできる BLOCK 3 の導入が始まる。数は 50 機、BLOCK 2 から空中給油能力を付与している。しかも BLOCK 3 は AESA レーダーを搭載する予定である。現在、2 種類のレーダーが候補に上がっている。1 種は中国製で、他はイタリア製である。

パキスタン空軍全体では、150 機の JF-17BLOCK 1/2/3 を獲得することになる。この JF-17 導入計画は、パキスタン空軍予算の大部分を占めることになる。パキスタンは、中国のミャンマーへの JF-17 輸出計画に協力することになるのだろうか？これに対し消息筋は次のように述べた：それは違う。中国とミャンマー間でのみの契約だ。機体の全てが中国製である。パキスタンは部品の提供も行わない、と。

パキスタン空軍は SU-35 を求めている。これは強い政治的信号である。これは、パキスタンとロシアの軍事協力関係が強まることを意味する。これは、冷戦時代にもその後の時代にも無かった事である。

インドとロシアの軍事協力関係は最近極めて冷淡になっている。最近のインドの航空ショーにおいても、ロシアの軍事代表団は、公開された記者会見の場で、インドの米国製航空機の大量購入に対し強い不満を表明している。ロシア側は：これらの航空機の購入は不公平な競争の下に行われたものである、と述べ

ている。

インドのメディアは、今年、インド空軍官員の話を用いて次のように述べた：
SU-57 は、**F-35** や **F-22** に比べて劣ると考える、と。

インドは、インド版第五世代戦闘機をロシアと共同開発する可能性について引き続き検討している。この協力計画の金額は 40 億ドルに達する。インドのメディアは、”インド軍の消息筋の話”として、次のように述べた：インドはこの協力計画から撤退するかもしれない。この 4 月、メディアの一部は、インドはすでにこの協力計画から撤退することを決定した、と述べた。

現在、上述のニュースは、インド軍側の正式発表を待っている状況にある。どうなろうと、一旦インドとロシアの **FGFA** 計画に異変が起こると、インドとロシアの軍事協力の将来は絶望的となる。

このような背景の下、パキスタンとロシアは接近し始めた。すなわち **SU-35** 導入に関する交渉である。

しかし **KDR** としては、パキスタンが最終的に **SU-35** を購入するかどうかについて、慎重な見方をしている。第一に、インドとロシアが、たとえ **FGFA** 問題で大きな意見の相違があったとしても、インド空軍の現在の装備は約 60% がロシア製である。今後、また **SU-35MKI** 及び **MIG-29** 等の大型事業で協力することになる。ロシアとインドが軍事協力領域で徹底して”離婚”することは、双方にとって大きな苦痛となろう。たとえパキスタンが **SU-35** 或いはその他のロシア製戦闘機の獲得を希望したとしても、交渉には一定の期間が必要である。

以上